

ケロリンT

項目	内容
医薬品区分	配置用医薬品
薬効分類	解熱鎮痛薬
承認販売名	
製品名	ケロリンT
製品名（読み）	ケロリンT
製品の特徴	<p>非ピリン系解熱鎮痛剤，アセチルサリチル酸，アセトアミノフェンは，温熱中枢及び痛覚中枢に働いて悪寒，発熱，頭痛，関節の痛み，筋肉の痛みにすぐれた効果をあらわします。さらに無水カフェインが脳血管に働いて，頭痛をやわらげます。</p>
使用上の注意	<p>■してはいけないこと （守らないと現在の症状が悪化したり，副作用・事故が起こりやすくなる）</p> <ol style="list-style-type: none"> 次の人は服用しないでください。 <ol style="list-style-type: none"> 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。 本剤又は他の解熱鎮痛薬，かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。 15才未満の小児。 出産予定日12週以内の妊婦。 本剤を服用している間は，次のいずれの医薬品も服用しないでください。 他の解熱鎮痛薬，かぜ薬，鎮静薬 服用前後は飲酒しないでください。 長期連用しないでください。 <p>■相談すること</p> <ol style="list-style-type: none"> 次の人は服用前に医師，歯科医師，薬剤師又は登録販売者に相談してください。 <ol style="list-style-type: none"> 医師又は歯科医師の治療を受けている人。 妊婦又は妊娠していると思われる人。 授乳中の人。 高齢者。 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。 次の診断を受けた人。 心臓病，腎臓病，肝臓病，胃・十二指腸潰瘍 服用後，次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので，直ちに服用を中止し，この文書を持って医師，薬剤師又は登録販売者に相談してください。 <p>〔関係部位：症状〕</p>

皮膚：発疹・発赤，かゆみ，青あざができる

消化器：吐き気・嘔吐，食欲不振，胸やけ，胃もたれ，腹痛，下痢，血便，胃腸出血

精神神経系：めまい

その他：鼻血，歯ぐきの出血，出血が止まりにくい，出血，発熱，のどの痛み，背中の痛み，過度の体温低下

まれに次の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

〔症状の名称：症状〕

ショック（アナフィラキシー）：服用後すぐに，皮膚のかゆみ，じんましん，声のかすれ，くしゃみ，のどのかゆみ，息苦しさ，動悸，意識の混濁等があらわれる。

皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）：高熱，目の充血，目やに，唇のただれ，のどの痛み，皮膚の広範囲の発疹・発赤，赤くなった皮膚上に小さなブツブツ

（小膿疱）が出る，全身がだるい，食欲がない等が持続したり，急激に悪化する。

中毒性表皮壊死融解症：高熱，目の充血，目やに，唇のただれ，のどの痛み，皮膚の広範囲の発疹・発赤，赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る，全身がだるい，食欲がない等が持続したり，急激に悪化する。

急性汎発性発疹性膿疱症：高熱，目の充血，目やに，唇のただれ，のどの痛み，皮膚の広範囲の発疹・発赤，赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る，全身がだるい，食欲がない等が持続したり，急激に悪化する。

薬剤性過敏症症候群：皮膚が広い範囲で赤くなる，全身性の発疹，発熱，体がだるい，リンパ節（首，わきの下，股の付け根等）のはれ等があらわれる。

アレルギー反応に伴う急性冠症候群：しめ付けられるような胸の痛み，息苦しさ，胸を強く押さえつけられた感じ，あごの痛み，左腕の痛み，さむけ，ふらつき，発汗，発熱，意識の低下，口唇周囲のはれ，かゆみ，じんましん，発疹，のどのかゆみ，動悸等があらわれる。

間質性肺炎：階段を上ったり，少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる，空せき，発熱等がみられ，これらが急にあらわれたり，持続したりする。

腎障害：発熱，発疹，尿量の減少，全身のむくみ，全身のだるさ，関節痛（節々が痛む），下痢等があらわれる。

肝機能障害：発熱，かゆみ，発疹，黄疸（皮膚や白目が黄色くなる），褐色尿，全身のだるさ，食欲不振等があらわれる。

ぜんそく：息をするときゼーゼー，ヒューヒューと鳴る，息苦しい等があらわれる。

再生不良性貧血：青あざ，鼻血，歯ぐきの出血，発熱，皮膚や粘膜が青白くみえる，疲労感，動悸，息切れ，気分が悪くなりくらっとする，血尿等があらわれる。

3. 5～6回服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し，この文書を持って医師，歯科医師，薬剤師又は登録販売者に相談してください。

効能・効果	(1)頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛（生理痛）・外傷痛の鎮痛 (2)悪寒・発熱時の解熱											
効能関連注意												
用法・用量	次の1回量を1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用してください。服用間隔は6時間以上おいてください。 〔年齢：1回量：1日服用回数〕 15才以上（大人）：1包：2回 15才未満：服用しないこと											
用法関連注意	（1）本剤は、定められた用法・用量を厳守してください。											
成分分量	1包(900mg)中 <table><tr><th>成分</th><th>分量</th></tr><tr><td>アセチルサリチル酸</td><td>600mg</td></tr><tr><td>アセトアミノフェン</td><td>100mg</td></tr><tr><td>無水カフェイン</td><td>60mg</td></tr><tr><td>ケイヒ末</td><td>60mg</td></tr></table>		成分	分量	アセチルサリチル酸	600mg	アセトアミノフェン	100mg	無水カフェイン	60mg	ケイヒ末	60mg
成分	分量											
アセチルサリチル酸	600mg											
アセトアミノフェン	100mg											
無水カフェイン	60mg											
ケイヒ末	60mg											
添加物	バレイショデンプン											
保管及び取扱い上の注意	（1）直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に保管してください。 （2）小児の手のとどかない所に保管してください。 （3）他の容器に入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わる。）。 （4）表示の期限をすぎた製品は服用しないでください。											
消費者相談窓口	会社名：富山めぐみ製薬株式会社 住所：富山県富山市三番町3-10 問い合わせ先：お客様相談窓口 電話：076（421）5531 受付時間：9：00～17：00（土、日、祝日を除く）											
製造販売会社	富山めぐみ製薬（株） 会社名：富山めぐみ製薬株式会社 住所：富山県富山市三番町3-10											
販売会社												
剤形	散剤											
リスク区分等	第「2」類医薬品											